

宮城県の取り組み

宮城県では、看護職員の確保・定着・再就業に向けた、各種取り組みを行っています。

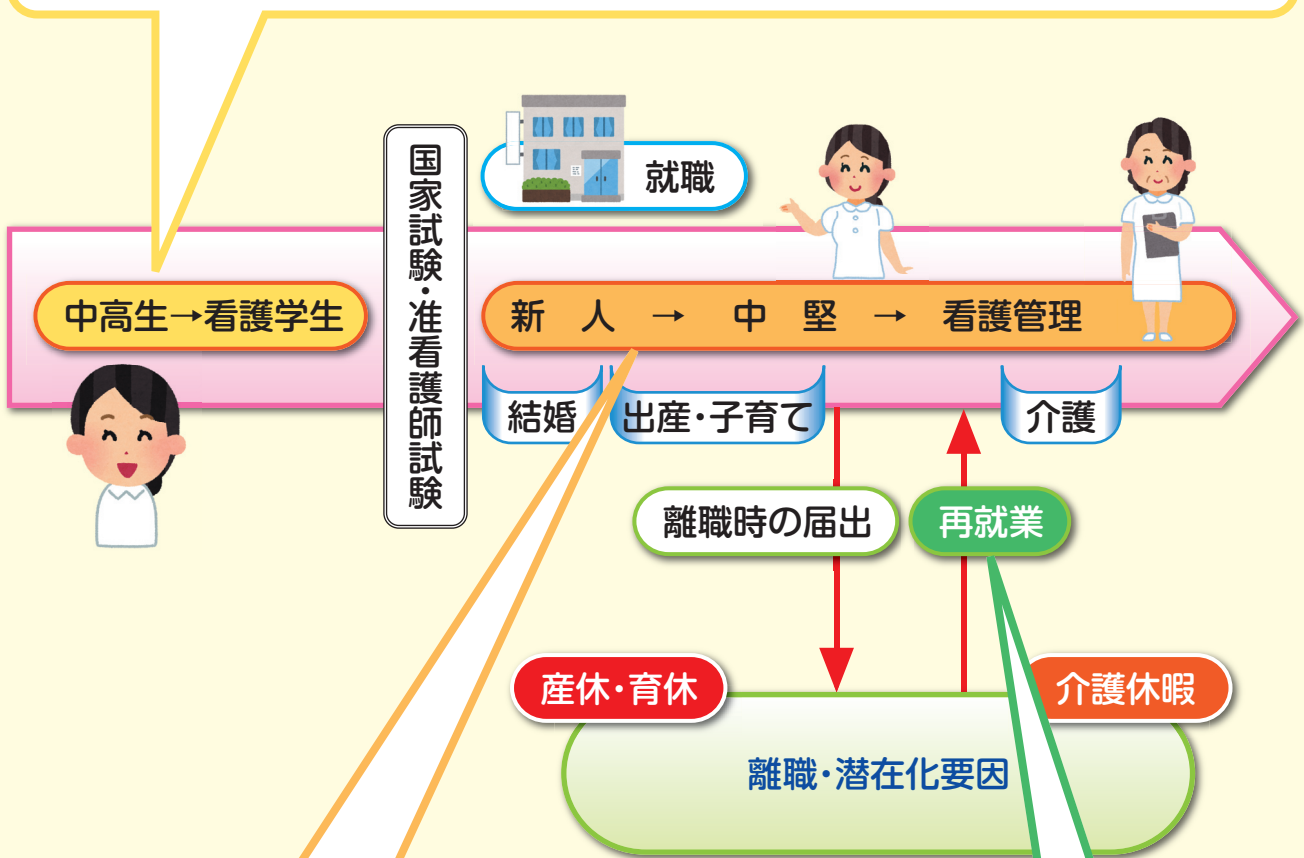
■これが宮城の看護道!

～看護職員のライフステージに対応した宮城県の取り組み～

看護職員になる前

中学生、高校生、看護学生等向けに、看護職員に興味を持ち、働くイメージを持てるような病院見学などの取り組みや、病院就職ガイダンスなどの取り組みを行っています。

(→p.45参照。)



看護職員になってから

看護職員としての質の向上のための各種研修事業を行っているほか、結婚・出産・子育てなどでライフステージが変わっても働き続けられるよう、勤務環境改善の取り組みなどを行っています。(→p.141参照。)

看護職員として再就業

一度離職し、仕事に空白があってもスムーズに復職できるよう、各種相談や復職に向けた研修等を行っています。(→p.142,143参照。)

看護職員になる前

中学生、高校生、看護学生等向けに、看護職員に興味を持ち、働くイメージを持てるような病院見学などの取り組みや、病院就職ガイダンスなどの取り組みを行っています。

看護学生・未就業看護師等病院就職ガイダンス(平成19年度から)



宮城県内の様々な病院の担当者に、直接話を聞くチャンスです!

平成29年度は、県内68の病院や宮城県看護協会が一堂に会し、看護学生らは各施設のブースを回り、熱心に話を聞いていました。「たくさんの知らない病院が分かってよかった」、「パンフレットには載っていない、貴重な意見を聞くことができた」などの声が聞かれました。

看護学生・未就業看護師等向け病院見学ツアー(平成29年度から)

県内の仙台地区以外にある病院の魅力を再発見するツアーです! 圏域毎に複数の病院に行き、病院内を回りながら看護職員として働く先輩の話を聞いて質問することができます。

参加者からは、「病院の雰囲気を感じ、入職したときのイメージを具体的に持つことができた」などの感想が聞かれました。



地域医療を志す中学生事業(平成28年度から)

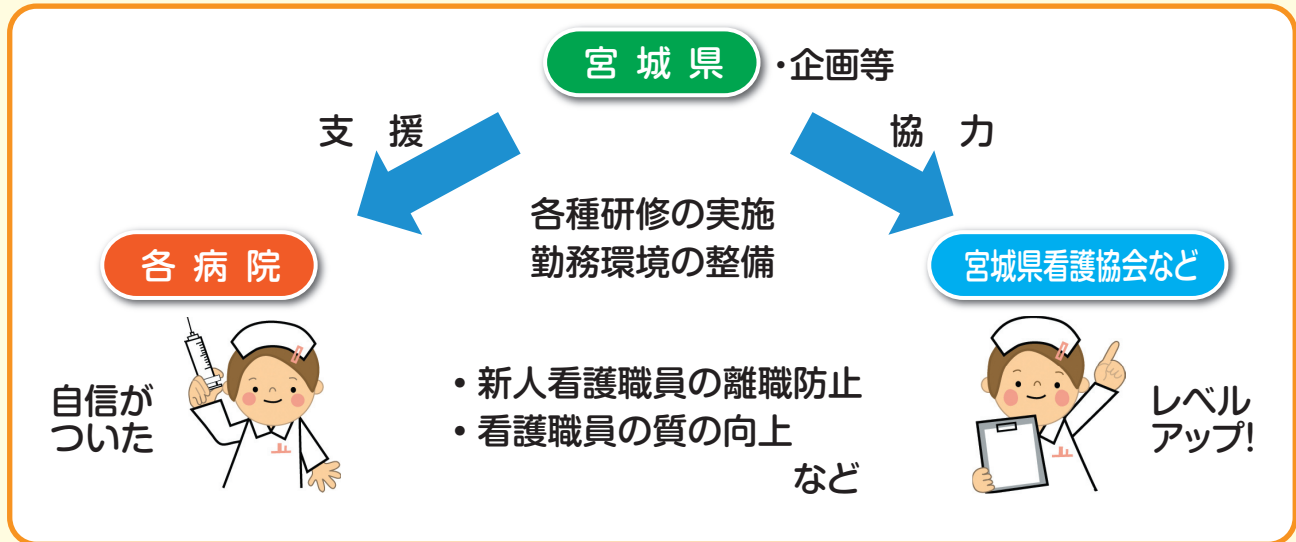


東北大学クリニカル・スキルスラボや県内の病院に行き、シミュレーターや医療機器を使った体験、医師・看護師による講話、病院内施設見学を行います!

参加した中学生からは、「より、医学に興味を持つことができた」、「いつも優しい看護師さんの、目指すところについて聞けた」などの感想が聞かれました。

看護職員になってから

新人研修や卒後研修の充実を図るための支援のほか、キャリアアップのための各種研修事業への支援を実施しています。さらに、結婚・出産・子育てなどでライフステージが変わっても働き続けられるよう、勤務環境改善の取り組みなども行っています。



県が支援・協力している事業の例

新人看護職員研修事業	厚生労働省が策定した「新人看護職員研修ガイドライン」に沿って、各病院が実施する新人看護職員研修経費を支援しています。
新人看護職員合同研修事業	中小規模等施設の新人看護職員を対象として、多施設合同の研修会を実施しています。
研修責任者研修事業	各病院等で新人看護職員研修事業を実施するための、研修責任者に必要な知識、技術を習得させます。
認定看護師課程派遣助成事業	高い知識と技術を有する認定看護師の養成課程へ看護師を派遣する医療機関に、派遣費を支援しています。
病院内保育所施設整備事業 病院内保育所運営事業	病院や診療所の保育施設整備や運営費を支援して、子育てをしながら働き続けられる環境を整えています。
就労環境改善事業	勤務環境の改善に向けた様々な取組みを推進しようとする医療機関に、実態調査や改善計画の立案・実施及び評価の支援を行っています。 また、看護職員が働き続けるための、勤務環境改善に関する研修会を開催しています。

※ このほかにも、助産師研修、保健師専門技術研修など、様々な取り組みを行っています。